

Kuki



市民と市政をつなぐ情報紙

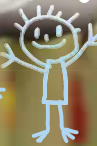
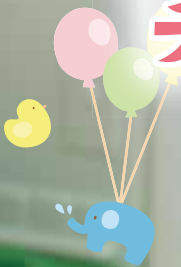
広報くき

1

2024 (令和6年)
No.274

笑顔があふれる場所がいっぱい

久喜で子育て





笑顔があふれる場所がいっぱい 久喜で子育て



子どもは、家庭にとって「かけがえない存在」。外から見ると、家庭内は輝いて見えます。しかし

地域全体でサポート

都市化、核家族化、働き方の変化等により、人々の価値観や生活様式が多様化している中、子育てに対する意識やニーズも変化しています。子どもや家庭の状況に合わせた、きめ細やかな支援が必要とされています。



また、市内には親子で安心して遊べる場所や、気軽に相談できるスタッフがたくさん。一歩外に出てみると、また違う景色が見えるかもしれません。

久喜で子育て

今月の特集は、親子をサポートする久喜市の子育て支援の取り組みをご紹介します。

子どもの出生数が過去最少に

令和4年に厚生労働省が行った人口動態調査によると、令和4年に生まれた子どもの数は、77万747人。1899年に統計を取り始めて以降、最も少ない数となり、初めて80万人を下回りました。

日々子どもと向き合う保護者にとっては、楽しいことばかりではありません。子育ての不安や悩みを相談できる人が周りにいなかったり、1人で子どもといると、「孤独」を感じてしまうことも。



久喜市では、誰もが安心して子どもを産み、子どもが健やかに育つことができるまちの実現に向けて、地域全体で保護者をサポートする体制づくりや、困ったときにいつでも相談や支援が受けられる環境整備を図っています。

新年のごあいさつ



笑顔あふれる1年に

久喜市長 **梅田 修一**

市民の皆様におかれましては、希望に輝く新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、広報くき令和5年5月号でも特集した本市の取組み「地域が場を作り、学生が盛り上げる！3人制バスケットを通じたまちづくり 3X3 KUKIプロジェクト」が、スポーツ庁の「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を2年連続で受賞いたしました。2年連続での受賞は、埼玉県内の自治体では初の快挙であり、本市が掲げている「健幸・スポーツ都市宣言」に関する取組みを高く評価いただけたものと嬉しく思っております。

また、本年は、JR東鷲宮駅東口に立地予定の商業施設の一部をお借りして、行政窓口、子育て支援およびコミュニティセンター機能を備えた新たな複合施設を設置する計画であります。より多くの方々に施設をご利用いただき、地域の賑わいの拠点となるよう、取組みを進めてまいります。

この他、少子高齢化に伴い、国では「こども家庭庁」を発足させるとともに、「異次元の少子化対策」を掲げております。本市におきましても、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援を行う体制を強化するため、子ども家庭機能を設置し、より子育てしやすい環境を整えてまいります。

本年も、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新たな挑戦を

久喜市議会議員 **上條 哲弘**

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表して、謹んでごあいさつを申し上げます。昨年、スポーツ界では、侍ジャパンがWBCを制覇するなど、各分野で数々の感動を生んだ一年となりました。特に大谷選手の「憧れるのをやめましょう」という、強い決意と闘志の現れた一言は、私たちが何かに挑戦するときの勇気を与える言葉として、心に深く響きました。

新年を迎え、市民の皆様も「新たな挑戦」をしてみたいかがでしょうか。その新たな一歩が、一人ひとりにとって、素晴らしい結果をもたらすことを切に願っております。

私たち市議会も、挑戦を続け、より質の高い議会を目指すとともに、安全・安心なまちづくりの実現に向けて、鋭意努力してまいります所存でございます。

どうか皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、幸多き年でありますとともに、皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。





自分の好きなおもちゃを見つけ、自由に遊ぶ子どもたち。取材した当日は避難訓練が行われ、消火体験では、初めて触る水消火器に緊張気味なお子さんもありました。

児童センター

また、各施設には、子育てに関する相談ができるスタッフも常駐しています。困ったときや悩んだとき、一緒に考えアドバイスをしてくれます。

親子が共に笑顔になって楽しめる場所。皆さん、いつでも気軽に遊びに来てくださいね。

安心して遊べる市内の施設

親子の笑顔を育む場所

「親子の憩いの場」

利用する保護者からは、「1日中家にいるのはストレスなので、ここに来て大人と話せる時間はとても貴重です」という声や、「他の先輩ママさんに、保育園の話や子育てのアドバイスを聞けて、とても助かっています」という声が聞かれました。

中には「近所なので、来れるときは30分でも1時間でも毎日来ています。近くにこのような施設があるのはとてもありがたいです」と話すママも。

「出会い、つながる」

市内には、子どもと一緒に安心して楽しく遊べる施設がたくさん。施設内には遊具やおもちゃ、絵本などが置いてあり、誰でも自由に使うことができます。また、歌って踊ったり、クリスマス飾りなど季節ごとの製作をしたり、お子さんの成長を感じられる身体測定や誕生日会をしたりと、一年を通じて親子で参加できるイベントがあります。さらに、子育てに関する講座や、他のママ・パパとお話ができるイベントも定期的に開催しており、新たな出会いや交流が生まれる場にもなっています。

目指せ！新記録



鷺宮児童館

児童館まつりには、当初の予想を大きく上回る200人以上が参加。輪投げや工作、ビンゴ大会などで、会場は大賑わいでした。



はっぴり決めポーズ!



子育て支援センター「ぼかぼか」のベビーマッサージと、「すまいる」のクリスマス製作にお邪魔しました。元気いっぱいの子どもたちと、その様子を優しく見つめるママの“笑顔”で溢れていました。

児童センター・児童館

児童センター

- 9時～17時
(4月～9月は18時まで)
- 吉羽1-40-14
- 21-8181

しょうぶ会館(児童館)

- 8時30分～17時
- 菖蒲町菖蒲1077-1
- 85-0370

鷺宮児童館

- 9時～17時
(4月～9月は18時まで)
- 上内878
- 58-7054



子育て支援センター・つどいの広場(公立)

久喜地域子育て支援センター ぼかぼか

- 平日 9時～12時
13時～16時30分
- 吉羽692-1(ひまわり保育園併設)
- 21-8596

栗橋地域子育て支援センター くぶる

- 平日 9時～12時
13時～16時30分
- 中里1048-1
- 55-1147

つどいの広場 さらさら

- 平日 9時～12時
- 本町2-5-1
(久喜小学校内学童保育施設)
- 21-8324

鷺宮地域子育て支援センター すまいる

- 平日 9時～12時
13時～16時30分
- 鷺宮2-6-19
- 59-7510

※各施設には休館日があります。詳細は市ホームページをご覧ください。

子育て支援センター



子育て情報が分かる!

久喜市 健幸・子育てナビ

予防接種のスケジュール管理や、母子手帳の情報を写真付きで記録することができます。




登録は無料です▶

久喜市子育てガイドブック (改訂版)


子育て支援の各種サービス、相談窓口、市内の子育て関連施設等についてまとめています。

◀電子書籍版も配布



保健事業日程表

市内医療機関・歯科医療機関一覧表を掲載しています。



電子書籍版も配布▶

子育て応援サイト ママフレ

育児に役立つ行政制度やサービスをご紹介します。フレ・フレ・ママ!!!






◎ 火～金曜日 11時～19時
土曜日 9時～17時
(祝日、年末年始を除く)

📍 伊坂中央1-3-1 メゾンカトリア1階

☎ 48-5501

メールや電話でも、相談を受け付けています。詳細はHP▶



市内どこからでも、お気軽にお問い合わせください!
(メール相談は24時間受け付け)

後悔してほしくない

「子育てしようと思ったことがなかったから、妊娠期のスタートから何も分からなくて。保育園も適当に決めちゃったんです。結果的に良い園でラッキーだったんですけどね」。そう語る望月さんも、小学1年生のお子さんを育てる一人のママ。「情報や知識があれば、子どもにもっと良い環境を与えてあげられたのかなと思うこともあります。施設を利用する皆さんには、そういった後悔が少しでもないようにならしてほしいと思いますね」

道具がないと使えない

相談に来る保護者は、赤ちゃん連れのママなど、初めての子育てという方が多いと望月さんは話します。「みんな最初は分からないこ



とだらけ。情報って道具のようなもので、道具がないと選択肢を狭めてしまおうと思うんです。ここで最初のとっかかりを作って、欲しい情報や適切な場所につなげてあげる。そしてまずは、困ったときに相談できる場所があることを知って欲しい。ここが、とりあえず一回連絡をもらえるような場所になればいいですね。そして皆さんが、持っている道具を使って、より良い選択ができるように今後も活動していきます。未来を見つめる望月さんの目は、力強く希望に満ちていました。

久喜市の

子育てを見守る

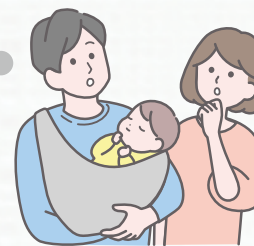
望月さんの挑

戦は、これか

らも続いています。

妊娠、出産について不安や悩み、聞きたいことがあるけど、どこに相談したら…?

自分たちの行ける支援センターはどんなところだろう…?



子ども・子育てを
サポート!



久喜市受託事業

子育て案内所
えんむすび

妊娠、出産、子育てのさまざまな悩みや疑問を相談できる場所があります。

観光案内所の子育て版

栗橋駅西口から徒歩3分。「子育て案内所えんむすび」は、久喜市受託事業として、令和4年6月にこの場所ですタートを切りました。保育施設や子育て支援などについて、情報提供や関係機関の案内を行っており、施設内には駄菓子や手作り雑貨、絵本の物販もあるので、散歩や買い物ついでにふらっと立ち寄ることが出来ます。

多機能型の支援

「一番の魅力は、平日19時までと土曜日にも開所していること」と話すのは、代表の望月ひとみさん。実際に施設を利用する人は、16時以降がほとんどだそうです。また、あえて支援センターなどの拠点の外に施設を置くことで、センターの利用者層でなくとも利用できるようにしました。(1)

保護者だけでなく、子どもたちの支援も

当初は、保護者に向けた施設を想定していましたが、駄菓子を買いに来たついでに、学校の悩みを相談してくれるお子さんもいたと言います。そこで新たに、LINEを通じてリアルタイムに相談に乗れるサービスを導入予定とのこと。「助産師さんもいるので、性に関することも安心して相談いただけます。子どもたちに向けた支援も、必要に応じて行っていきます」

みんなであつめる親子の笑顔

子育て案内所えんむすびでは、妊娠期からの子育て家庭に向けて、専門職員が、各家庭のニーズに応じた案内や相談等を行っています。地域と連携を図り、地域全体で子どもや子育て家庭を見守ります。

より楽しく子育てができるように
小さなことでも相談してほしい

LINEで
イベント情報等
をお届けします!

市内のイベント情報を集約し、毎月発信中!
※年度ごとにアカウントが変わります。その都度ご登録をお願いします。



ここから登録!!



子育て案内所えんむすび 子育て支援員

望月ひとみさん

久喜市ファミリー・サポート・センター ファミサポ

久喜市ファミリー・サポート・センターは、子育ての手助けをしてほしい方とお手伝いできる方をつなぐ会員組織です。会員となって、地域で子育てを助け合いませんか。

◎ 平日 9時～17時
(祝日、年末年始を除く)

☎ 29-1900



※会員登録は無料です。詳細はお問い合わせください。

